

## 教員業務内容報告書

報告者氏名	梶 隆彦	所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
-------	------	----	----	----	----	------	-------

分野	計画		実績		記載事項例
	エフォート	内容	エフォート	内容(計画からの変更点)	
教育	50	<p>シラバス記載の内容を期間内に講義し単位を修得させることにより、該当のモデルコアカリキュラム目標の達成を目指す。</p> <p>1) 担当科目</p> <p>1C 生物応用化学入門(1単位)、創造化学実験(2単位)</p> <p>3C 物理化学1(1単位)</p> <p>4C 物理化学2(1単位)、科学技術史(1単位)、物化・化工実験(3単位)、応用化学実験(3単位)</p> <p>5C 化学工学2(4単位)、バイオ工学(2単位)、科学技術史(1単位)、卒業研究(11単位)4名</p> <p>5A 化学工学概論(1単位)</p> <p>専1 専攻科研究基礎(5単位)1名</p> <p>専2 応用物理化学(2単位)</p> <p>2) 教育方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・teamsを用いた遠隔授業の併用</li> <li>・teams上での講義資料の提示</li> <li>・課題演習の実施と解説</li> <li>・teamsを利用した時間外質問対応</li> </ul>			<p>担当科目名・ 単位数 卒業研究・ 専攻科研究指 導学生数 教育方法改善 内容</p>
研究	20	<p>今年度研究室には、本科5年生4名、専攻科1年生1名が配属予定である。専攻科生は昨年度卒業研究からの継続で、その応用研究をテーマとして予定している。本科5年生については、基本的な実験知識および技術の習得から始まり、基礎的な実験データの収集および解析まで指導する予定である。</p> <p>研究成果は、これまで化学工学会、日本溶媒抽出学会等の雑誌に投稿し、掲載されている(論文・著書等 47報)。専攻科生の研究成果については高専シンポジウム等での発表を目指したい。</p> <p>科研費への申請を準備している。</p>			<p>論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金</p>
学生生活指導	5	<p>クラブ指導</p> <p>野球部顧問</p> <p>土日祝日の対外試合の引率</p> <p>茶道部代表顧問</p> <p>週1回お稽古の立会い</p>			<p>クラブ顧問 コンテスト指導</p>
校務・管理運営	20	<p>過去5年間の管理運営業務</p> <p>生物応用化学科学科長、キャリア支援室長</p> <p>今年度の管理運営業務</p> <p>キャリア支援室長</p> <p>今年度の委員会</p> <p>運営委員、予算委員、企画委員、施設環境委員他、キャリア支援室運営委員長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア支援室運営委員会の主宰</li> <li>・就職・進学状況</li> <li>・インターンシップ</li> <li>・移動届</li> <li>・キャリア講演会</li> <li>・大学編入学説明会</li> <li>・企業説明会</li> </ul>			<p>主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員</p>
社会活動	5	<p>所属学会</p> <p>化学工学会、日本溶媒抽出学会、日本ゴム協会</p> <p>学会活動他</p> <p>今年度は該当なし</p>			<p>所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動</p>

(注) エフォートは各職務にかかる(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。